

続・イジメてみやがれ!!! (中三時代)



苑田公乃

親と教師は選べない

だけど、友達がいれば生きて行ける

夏休みがある方も無い方も、、、

どうしろって？笑顔で暮らそう！かな（笑）。

胃を患っているのですが、たまに寝ている昨今ですが、そういう時は映画を借りて来て観ていたり、悪くないです。

最近では、85歳で女優デビューした方のグルジアが舞台の作品が良かったです。

個人的に、リトアニアの方達と接した時期もあり、、、。

どっちも旧ソ連です。

役者には、優れた方と大根がいて、大根も出演するからには監督やプロデューサーにはメリットがあるのだと思うのですが、役者よのお〜と感心する方は、目が違うと思っています。で、85歳のこの方（今は、90歳現役だとの事）は、ほぼ動けないだろうから、やはり目はスゴいのだろうなと思った通り、スゴかったです。

勘でやっていると思うのですが、ワンカットで瞬き何回と計算している位スゴく見えました。

製作者達も、相当がんばったようです。

グルジアには、小道具のレンタル屋が無いので、小物はひとつひとつ近所の家から借りて撮影。

これがまた詰めが甘くない、、、。

キャスティングも最高でしたし。ロケ場所も最高。ロケ班も頑張りましたね。

レンタルDVDで観る事が出来たという事はかなりラッキーでしょう。レンタル屋さんの棚は作品が随分と偏ってますからね。

私は、制作費に変に金かけないでもいい映画は出来ると信じていて、そういう映画に当たると機嫌がいいです。

グルジアの観覧車は、囲いは手すりだけでした。天井やガラスなど無い。で、停電も多いせいか、すぐ止まるらしい。

おばあちゃんは、止まってしまった観覧車の上で、うまそうに煙草を吸っていました。

いいカットでした。

しかも、箱買いじゃないんですよね〜。2本くれと買ってました。男友達が、フィリッピンもそうだよと教えてくれました。コンビニで1箱買って出ると、見知らぬ人達から分けてくれとワラワラ言葉をかけられるそうです。

85歳で新しい事を始めた時、私も常に思っている事を彼女も思ったようです。

今更、失うものなんてないわ、やってみよう。

ただ、あの名優ぶりからすると、誰でもデビュー出来るわけじゃないみたいですが。当たり前ですが。抜擢した方もいい仕事をしたと言えるでしょう。

映画タイトルは「やさしい嘘」です。ご参考までに。

もうひとつ、同じくいい作品を観ました。

邦題は余り良なくて(?)「夕映えの道」。原題は、ルトレ通り、だと思えます。

これまたカルチャーショックを受けます。トイレも無い部屋に住む老女と知り合った仕事バリバリな中年(?)女性が主演で、女性の実際の部屋を彼女の部屋として使い、キャストも少人数、どころか、デジカメ撮影なのでスタッフも6人程度でロケの許可も要らなかったそうです。日本では知られていない監督ですが、あちらでは教える側の腕の方が撮った映画です。ヨーロッパ人って、余り年齢を気にしないで友達や恋人になります。知る限りでは、アメリカもそうです。

あ、カナダも。

で、これは「友情だ！」みたいにカテゴライズしないので、余計何でもアリです。

エンディングも「らしくって」良かったです。日本やアメリカだったら、もっと多弁な終わり方をするでしょう。

あ、ニコール・キッドマンプロデュース映画は、監督は最高のはずなのに、終わり方も含めてフラストレーションが残るので観ない方がいいです。

先日、車椅子の方が一人でいるので近くに行ってみました。何か困ってないかと。椅子にケーキの絵と値段を書いたプラカードを立てて、ケーキを販売してました。後ろを開けてみるというので開けたら、美味しそうなシフォンケーキが入っていましたので、ひとつ買うねと言ったら、何個残っているか聞かれ、間違って4個と答えたら、4個800円でいいと言うんです。4個はキツイなと思ったのですが買う事にしました。売り切ったら帰れるって時は、相手が誰でも結構そうしてます。

彼は、私の名前と職業を尋ねました。ヨーロッパ的でいい感じです。日本人は、今日は休みか、結婚してるか、出身はどこか等を聞きます。近くに住んでいるのかとか。仕事も、良く分からない時は、適当に調子だけ合わせるのでイライラッとします。

後で知ったのですが、彼は何と言っているか聞き取れた振りをされるのが一番イヤだとの事です。

20年位その仕事をしているみたいです。早くに親元を離れて。

その日の夕飯は、シフォンケーキ4つでした。予想通り、美味しかったです。

出会いは、幾らでもあると私は考えています。

皆さんにも、素敵な出会いが沢山待っていますように！